

5年生臨海学習を終える

横殴りに降りしきる雨の中、揺れる船に乗り日間賀島に渡りました。このときが2日間の行程の中で一番天候が荒れたときであったかと思えます。添乗員さん、旅館の方、西沢先生が何とか海辺の活動ができるようにと知恵をしぼって時間調整をしてくださり、干物づくり、魚つかみ、そして予定より短時間ではありましたが、海に入る時間が生み出されました。

海に入りたくて入りたくて、もう、うずうずしていた子どもたちの念願がかなったときの溢れんばかりの笑顔が、今も思い浮かんできます。

夕食後に漁師さんがしてくださったお話も印象的でした。「山の環境が荒れると、海の環境も荒れる」「海と山の自然環境は直結している」、だから自分たち海の人間は定期的に山の清掃にも出かけている、といった内容でした。



身近な河川の行く先にある自然環境について、普段は意識することのないことに目を向けさせていただくお話で、はっとさせられるものでした。ここでも海辺で生活するひと・もの・ことに直に触れる意味や価値を強く感じました。

常に「5分前行動」の姿、バスの車内でのレクや、宿舎でのマナーを意識した行動からは、互いに仲が良く、周囲の人にも思いやることのできる5年生のよさを感じました。2日間、多くのふれあいをおして、一層成長して麻績に戻ってきた子どもたちでした。

みんな笑顔の保育園交流

6年生が麻績保育園に出かけて、年長さん（ひまわり組）のお友だちとともに過ごしました。「小学校で楽しみな行事」を寸劇で紹介したり、ゲームを



したりして楽しく過ごしました。「じゃんけん列車」の最初は、園児同士、6年生同士のペアもあったのですが、二回目になるともう入り混じっての活動になりました。わたしは、もっと緊張しながら始まるイメージをもっていたのですが、打ち解けた雰囲気になるまでがあっという間でした。『ジェスチャーゲーム』では少し照れながらも、ステージで6年生が『ねこ』『猿』『うさぎ』などの動物を表現して、園児に当ててもらいました。それを見た園児のひとりが『へび』を演じて、6年生が当てました。



自由遊びでは、多くの子が園庭でいっしょに駆け回り、ともに遊具で遊んで楽しみました。どの子も心からの笑顔で、さすが麻績の子同士だと感じました。「総合的な学習の時間」のテーマを『交流』として動き始めた6年生の皆さん。今日の活動をどのように振り返るのでしょうか。そして今後の展開も楽しみです。きっと、人とおおいにかかわり、そこから多くを学んでいってくれることでしょう。

職員非違行為防止研修報告 ~その2~

職員の綱紀の保持のため、麻績小学校職員も研修を続けています。

(1) 交通法規の遵守・事故防止のために

麻績村駐在所長 窪田大輔さんをお招きして、職員研修を実施しました(17日)。

最近の交通事故の実態・現状、そして飲酒運転の基準やそれが及ぼす影響等について、専門的なお立場からの助言や指導をいただきました。



前回の職員会でも、『松本ルール』と呼ばれる身勝手な運転について新聞記事から話題として取り上げて、日頃の自分の運転を見返す機会を設けました。

(2) わいせつな行為根絶に向けて

同じく職員会で、わいせつな行為に係る事例をもとに、その原因や背景、どう対処すべきであったか等を考える機会を設けました。

- 子どもさんを一人の尊重すべき人格として大切にすること。その基本は、その子どもさんのよさを見ることに徹することである、とわたしは信じています。